

M	T	W	Th	F	Sa	Su
6/29 春日原 6 久留米	6/30 二日市 7 久留米	7/1 光が丘 8 下大利	7/2 光が丘 9 下大利	7/3 白木原 10 白木原	7/4 白木原 11 白木原	7/5 朝倉街道 12 朝倉街道
7/13 春日原 13 春日原	7/14 二日市 14 久留米	7/15 光が丘 15 下大利	7/16 光が丘 16 下大利	7/17 白木原 17 白木原	7/18 白木原 18 白木原	7/19 朝倉街道 19 朝倉街道

7月の3分の2が終わる

暦というのは恐ろしいものだ。もうこの時間割の最後は7/19。季節はまだ真夏ではないかもしれないが、ネット情報だと九州北部の梅雨明けは例年7/19。この時間割の3週間は実に重い。
何故重いか？高校3年生でそれなりの大学を目指す者は予備校の夏期講習会に行くのだが、そこでは〇〇大英語のような授業が4～5日間連続で1コマづつある。教材は事前に買い、予習する(このやりこみで勝負がほぼつく)教材は〇〇大の傾向を考え抜いた問題や過去問で構成され、まさに予備校の総力を競う仕上がりだ。公立入試の過去問や類題を中3の2学期から延々と繰り返しさせられた記憶があると思うが、まあそんな感じの商品だ(この手の講座をしっかりと受ければ過去問を4、5年分解く効果と同じだろう)。
〇大対策講座は現役生を(合格実績を)集めるためだいたいお盆にあるのだけど、教える先生も一流だから全国ツアーとなりうっかりすると閉め切られていたり、終わっていたりしたこともあった(特に今年は変則なので可能性大)。
学校の課外日程とかぶるかどうかどうすればいいか？それは学校がピンポイントの対策の授業をしてほしいが、学年で数%の合格者しかいない大学の対策はないだろう。答えは簡単だ。

数学教室が他の予備校の宣伝をしているの？落ちる人が少ない高校入試と違って大学入試は甘くない。国立大学に受かる方が珍しいことなのだ。だから手段は選べない。
さて、上記期間が何故重いのか理由を述べなければならぬ。それは予備校から課されたテキストを予習できる人間に仕上げないと予備校に支払った高額なお金と参加する時間が全く無駄に終わるからだ。
入試本番の問題は高1、2で受けた進研模試と比べ物にならないくらい難しい。その問題の類似問題で構成されている教材を4、5日連続で仕上げ社会的なイベントの流れに乗るまで上記の期間しか残されていない！
決らず予備校に行く。教材を事前に取りに行くか問題はさっぱり分らない。でも、授業を受ければ分かるように説明してくれる。きっと。でも真実はただ、板書をきれいに写しているだけで、何故そうなるかは聞いても、自分が書いたノートを見返してもさっぱり分からない。そして季節は秋になる。この3週間自分を高める3週間にして欲しい。3週間を支配できずして自分の未来を支配できる筈ない。そのお手伝いを私は惜しまない。



QRコード
 全ての教室の最新時間割・グーグル地図も携帯で見れます！

令和2年度第2四半期時間割 令和2年3月30日掲載

春日原数学教室	月曜日 19:00～21:00	春日原共同利用施設:	春日原小学校校門より徒歩2分
久留米数学教室	火曜日 18:00～19:40	久留米毎日文化教室:	東町公園横西鉄久留米駅徒歩7分
二日市数学教室	火曜日 20:20～22:00	二日市コミセン:	旧筑紫税務署跡西鉄二日市駅徒歩3分
下大利数学教室	水曜日 18:00～19:40	下大利団地公民館:	西日本シティ銀行そば下大利駅徒歩2分
光が丘数学教室	水曜日 20:20～22:00	光が丘公民館1F:	光が丘郵便局よこサニーより徒歩1分
白木原数学教室	土曜日 15:00～17:00	白木原公民館2F:	西鉄白木原駅下車徒歩3分
朝倉街道数学教室	日曜日 15:00～17:00	針摺東公民館:	西鉄朝倉街道駅下車筑紫高校方向徒歩5分
おおはし数学教室	日曜日 18:00～21:00	三宅地祿会館3F:	西鉄地祿神社バス停前西鉄大橋駅自転車3分

★出欠の連絡はEメール mail@fcs9981.sakura.ne.jp もしくは 0120-54-9981 ★会場までの地図等は「数学専門塾 福岡」とヤフー、グーグル等ネット検索で確認できます